

議題2（委員会決裁事項（規則第3条第1号））

大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく
平成29年度実施対象校（案）について

標記について、別紙のとおり方針を示し周知を行うことを決定する。
その上で、様々な意見を踏まえ、11月の教育委員会会議において最終決定する。

平成29年9月1日

大阪府教育委員会

1 平成 29 年度の方針

平成 29 年度は、特色ある教育活動を他校に継承・発展させる機能統合による学校の再編、普通科総合選択制から総合学科への改編に着手する。

2 機能統合により再編する学校

対象校 (所在地)	機能統合先となる学校 (所在地)	対象校 募集停止時期	機能統合 実施時期
<small>かしわらひがし</small> 柏原東高校 (柏原市)	<small>や おすいしよう</small> 八尾翠翔高校 (八尾市)	平成 31 年度 入学者募集時	平成 31 年度から
<small>ながのきた</small> 長野北高校 (河内長野市)	<small>ながの</small> 長野高校 (河内長野市)	平成 31 年度 入学者募集時	平成 31 年度から

3 普通科総合選択制から総合学科に改編する学校

対象校 (所在地)	改編時期
<small>ひらかた</small> 枚方なぎさ高校 (枚方市)	平成 31 年度入学者から

4 対象校の選定理由

(1) 機能統合による再編整備

① 柏原東高校と八尾翠翔高校

- ・ **柏原東高校**は、中河内地域の生徒急増に対応するため、昭和 52 年に普通科として開校し、基礎学力向上のための「B-up タイム」の実施や就職をめざす生徒のための 3 年間一貫したキャリア教育の実施など学校の魅力向上に努めるとともに、柏原市立の 7 中学校とは高校教員が出向いて行う連携授業（書写）や部活動での中高合同練習の実施など中高連携の取組みを行ってきた。

また、同校は、同じ柏原市内に立地する大阪教育大学とさまざまな教育活動を通じて連携してきたことを特色の一つとしており、将来教員をめざす同大学の学生の教育実習やインターンシップ（学校行事や登校指導の見学体験等）を高校が受け入れる一方で、高校の放課後等に行う大学進学のための英語や数学などの講習では学習補助で大学生にサポートしてもらうなど、両者にとって互いにプラスとなる取組みを行ってきた。

しかし、学校や関係者の尽力にもかかわらず、中学校卒業生数が減少する中、柏原東高校では平成 27 年度以降 3 年連続して入学を志願する者が定員に満たない状況が続いており、また、同校の在籍生徒の主たる居住地の行政区（八尾市、柏原市、東大阪市）における今後の中学校卒業生数も減少傾向にあることから、同校を志願する者の数の改善が見込めない状況となっている。

- ・ 同校の北西約 3 km に立地する**八尾翠翔高校**は、平成 27 年度に普通科総合選択制から普通科専門コース設置校に改編し、人文ステップアップ専門コース、理数ステップアップ専門コース、スポーツリーダー専門コース及び総合系を設けて、生徒の多様な進路希望に対応した学習指導を行っている。

また、平成 18 年度から「ともに学びともに育つ」教育を推進する「知的障がい生徒自立支援コース」を設置し、人間性豊かな人材の育成をめざしている。

- ・ 大阪教育大学においては、学習支援や課外活動支援の実施など、引き続き地域の府立高校と連携していく意向を持っていることから、これまで柏原東高校との間で培ってきた緊密な連携関係を八尾翠翔高校に継承・発展させ、体育や芸術の授業などこれまでよりも幅広い教科における学習支援をはじめ、特別支援教育や部活動への支援など、連携内容をより充実させていく方向で同大学と協議し、実施していく。
- ・ 以上のように、柏原東高校の特色ある取組みを八尾翠翔高校に継承・発展させる機能統合を実施する。

《参考》

1. 入学者数の状況

＜柏原東高校＞

学科	選抜結果							創立年	生徒数 (H29)
		H25	H26	H27	H28	H29			
普通科	連携型中高一貫 教育に係る入学者選抜	募集定員 (人)	60	60	60	60	60	S52	619
		入学者数 (人)	60	60	60	55	60		
	前期選抜	募集定員 (人)	20	20	20	-	-		
		入学者数 (人)	20	20	20	-	-		
	後期 (一般) 選抜	募集定員 (人)	160	160	160	185	180		
		入学者数 (人)	160	160	148	152	151		
	二次選抜募集定員 (人)	-	-	12	33	29			
	二次選抜入学者数 (人)	-	-	3	10	11			
	志願割れ数 (人)	-	-	9	23	18			
	後期 (一般) 選抜倍率	1.09	1.11	0.93	0.82	0.84			

※H27 までは前期選抜・後期選抜、H28 からは一般選抜として実施

＜八尾翠翔高校＞

学科	選抜結果					創立年	生徒数 (H29)
	H25	H26	H27	H28	H29		
普通科	募集定員 (人)	240	240	240	240	H14	721
	入学者数 (人)	240	240	240	240		
	志願割れ数 (人)	-	-	-	-		
	後期 (一般) 選抜倍率	1.16	1.01	1.15	1.10		

※H27 までは前期選抜・後期選抜、H28 からは一般選抜として実施

2. 全入学者に占める3つの行政区（八尾市、柏原市、東大阪市）から両校に入学した生徒の割合（H29年度）

行政区	柏原東高校	八尾翠翔高校
八尾市 柏原市 東大阪市	79.3%	90.8%

3. 今後の中学校卒業生数の見込み

《八尾市、柏原市、東大阪市の合計》

	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	H32.3	H33.3	H34.3	H35.3	H36.3	H37.3
卒業生数 (人)	7,334	7,210	6,850	6,460	6,470	5,940	6,070	6,180	5,910	5,720

※平成29年3月～37年3月の中学校卒業生数は、学校基本調査（平成28年5月1日現在）による
府内公立小・中学校在籍児童・生徒数から推計したもの。

② 長野北高校と長野高校

- ・ **長野北高校**は、南河内地域の生徒急増に対応するため、昭和 49 年に普通科として開校し、習熟度別少人数授業により基礎基本の学力を定着させる取組みをはじめ、南河内地域の歴史・文化遺産・自然・食文化など地域資源の魅力を地元を探訪しながら学ぶ「郷土学」を実施するとともに、河内長野市選挙管理委員会との連携等によって地域社会に積極的に参加する意識や態度を育ていくシチズンシップ教育を実践するなど学校の魅力向上に努めてきた。また、あいさつ運動やクリーンキャンペーンへの参画など地域と連携した取組みにより、地域のリーダーを育成する活動を行ってきた。

しかし、学校や関係者の尽力にもかかわらず、中学校卒業生数が減少する中、同校では平成 27 年度以降 3 年連続して入学を志願する者が定員に満たない状況が続いており、また、同校の在籍生徒の主たる居住地の行政区（河内長野市、富田林市、大阪狭山市）における今後の中学校卒業生数も減少傾向にあることから、同校を志願する者の数の改善が見込めない状況となっている。

- ・ 同校から約 1.8 km に立地する**長野高校**は、普通科とともに国際教養科を併設し、ハイレベルな英語を身につける英語コースと、生徒の興味関心に応じてドイツ語やフランス語などの第二外国語を学習し異文化への理解を深める国際コースを設定し、英語教育や国際理解教育の充実を図っている。
- ・ その長野高校の教育課程に長野北高校がこれまで「郷土学」として行ってきた南河内の地域資源の魅力を学ぶ内容を設け、さらにそれを英語で紹介するカリキュラムを取り入れるなど南河内地域の魅力発信につながる教育の充実を図ることにより、グローバル化が進む社会でしなやかに生きていく力を育成する。あわせて、長野北高校の強みであるシチズンシップ教育や、あいさつ運動など地域と連携した実践を長野高校において行っていく。
- ・ 以上のように、長野北高校の特色ある取組みを長野高校に継承・発展させる機能統合を実施する。

《参考》

1. 入学者数の状況

＜長野北高校＞

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (H29)	
		H25	H26	H27	H28	H29			
普通科	前期選抜	募集定員 (人)	80	80	80	-	-	S49	601
		入学者数 (人)	80	80	80	-	-		
	後期 (一般) 選抜	募集定員 (人)	160	160	160	240	240		
		入学者数 (人)	160	160	143	230	192		
	二次選抜募集定員 (人)		-	-	17	10	48		
	二次選抜入学者数 (人)		-	-	4	7	19		
	志願割れ数 (人)		-	-	13	3	29		
	後期 (一般) 選抜倍率		1.13	1.24	0.89	0.96	0.80		

※H27 までは前期選抜・後期選抜、H28 からは一般選抜として実施

＜長野高校＞

学科	選抜結果						創立年	生徒数 (H29)
		H25	H26	H27	H28	H29		
普通科	募集定員 (人)	200	200	200	200	160	S48	786
	入学者数 (人)	200	200	200	200	160		
	志願割れ数 (人)	-	-	-	-	-		
	後期 (一般) 選抜倍率	1.07	1.15	1.07	1.11	1.29		
国際教養科	募集定員 (人)	80	80	80	80	80		
	入学者数 (人)	80	80	80	80	80		
	志願割れ数 (人)	-	-	-	-	-		
	前期 (一般) 選抜倍率	1.25	1.56	1.04	1.26	1.18		

※H27 までは前期選抜・後期選抜、H28 からは一般選抜として実施

2. 全入学者に占める3つの行政区（河内長野市、富田林市、大阪狭山市）から両校に入学した生徒の割合（H29年度）

行政区	長野北高校	長野高校
河内長野市 富田林市 大阪狭山市	73.9%	71.7%

3. 今後の中学校卒業生数の見込み

《河内長野市、富田林市、大阪狭山市の合計》

	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	H32.3	H33.3	H34.3	H35.3	H36.3	H37.3
卒業生数 (人)	2,528	2,510	2,510	2,190	2,160	2,110	2,010	2,080	2,030	2,050

※平成29年3月～37年3月の中学校卒業生数は、学校基本調査（平成28年5月1日現在）による
府内公立小・中学校在籍児童・生徒数から推計したもの。

(2) 普通科総合選択制から総合学科への改編

- ・ **枚方なぎさ高校**は、普通科総合選択制の学校であり、「生命・人間」「芸術・情報」「英語・文化」「生活・地域」「人文・社会」「理数・自然」の6つのエリアを設置している。中でも「生活・地域」エリアでは地域の福祉関連施設や保育所等と連携した体験的な実習などにより、福祉や保育関連分野への進路を実現する力を効果的に育成するとともに「芸術・情報」エリアでは2年連続で地域のアートコンテストの優勝者を輩出するなど高い成果をあげている。また、すべての生徒を対象に、様々な分野で活躍している社会人から話を聴く「職業講話」をはじめ、大学等との連携による「研究室探訪」や「キャンパス見学会」等への参加機会を設けるなど進路選択の支援を行っている。
- ・ これらの教育活動を行ってきた同校の生徒の進路は大学・短大への進学者は約5割、専門学校への進学者は約4割、就職者は約1割であり、同校を含めて枚方市内の公立高校7校がすべて普通科系高校という状況の中、同校は多様な進路選択ができる学校として地域からも評価されている。
- ・ 同校において、これまで以上に生徒の多様な進路実現を図っていくためには、普通科目以外の専門科目や学校設定科目を充実させ、自らの適性を見つめ、幅広い進路の中から自分の進路を決定していく力を育むことが重要であり、こうした教育をより一層効果的に進めることができる総合学科へ改編する。
- ・ なお、同校は知的障がい生徒自立支援コース設置校であり、総合学科に改編することによって、より多様な学びの中で、障がいのある生徒と障がいのない生徒の交流及び共同学習をさらに推進することができる。